

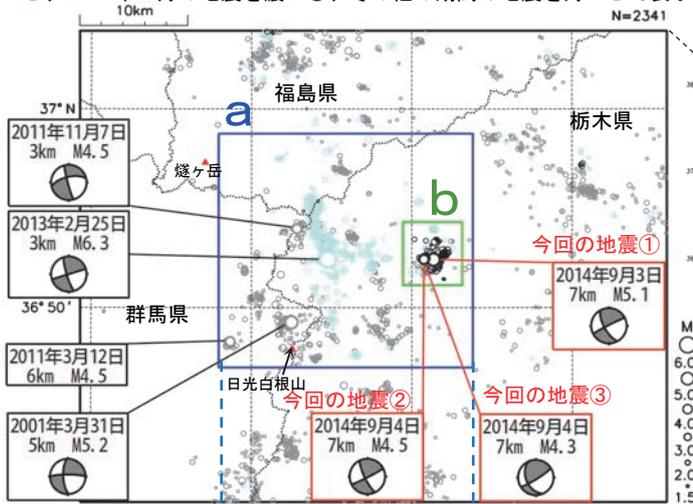
9月3日、4日 栃木県北部の地震

2014年9月3日16時24分に栃木県北部の深さ7kmでM5.1の地震（最大震度5弱、①）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の発生後、震度1以上を観測した余震が9月末までに30回発生した（最大震度別の回数は、震度4：1回、震度3：2回、震度2：6回、震度1：21回）。このうち、最大規模の余震は4日05時34分に発生したM4.5の地震（最大震度4、②）である。また、4日05時36分にはM4.3の地震（最大震度3、③）が発生した。

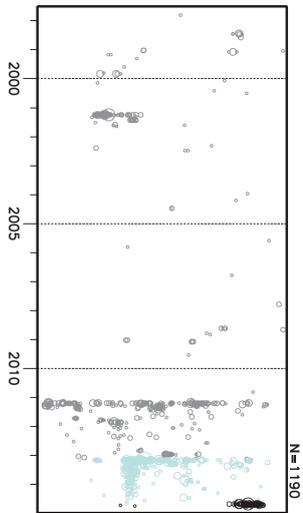
震央分布図

（1997年10月1日～2014年9月30日、深さ0～20km、M≥1.5）

2013年2月25日（M6.3の地震発生）から2014年8月までの地震を青い○、2014年9月の地震を濃い○、その他の期間の地震を薄い○で表示

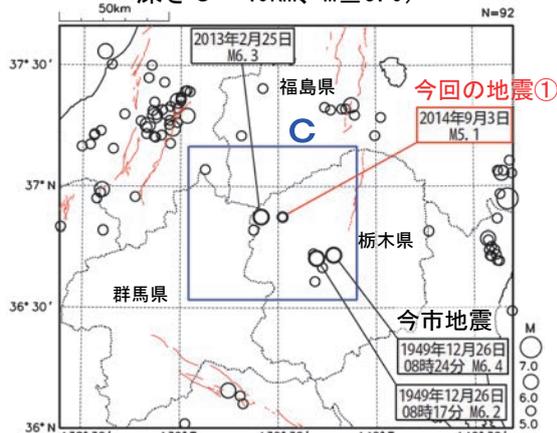


領域a内の時空間分布図（東西投影）



震央分布図

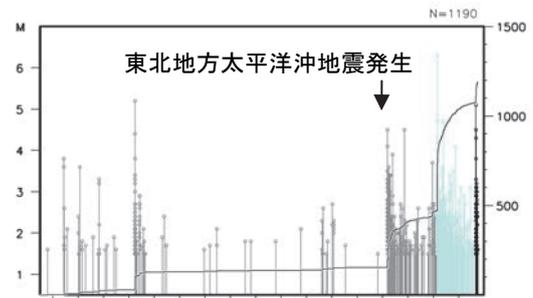
（1923年1月1日～2014年9月30日、深さ0～40km、M≥5.0）



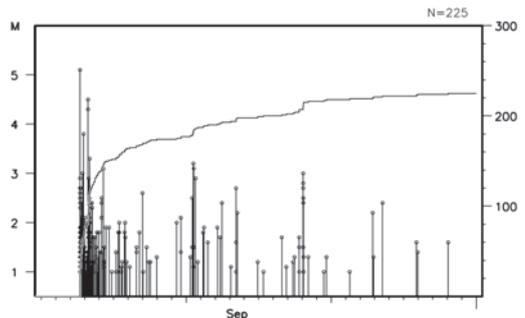
図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」発生以降、活動が活発になっており、2013年2月25日にM6.3の地震（最大震度5強）が発生した以降は、さらに活発になっている。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図及び回数積算図 (2014年9月1日～30日、M≥1.0)



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1949年12月26日に今市地震（M6.2、M6.4）が発生しており、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図

